



2026年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月12日

上場会社名 売れるネット広告社グループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9235 URL https://group.ureru.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 植木原宗平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 後藤祐弥 (TEL) 092-834-5520
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第3四半期の連結業績(2025年8月1日~2026年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年7月期第3四半期 | 1,099 | △2.3 | △171 | — | △171 | — | △195 | — |
| 2025年7月期第3四半期 | 1,124 | 93.7 | △182 | — | △184 | — | △448 | — |

(注) 包括利益 2026年7月期第3四半期 △194百万円(—%) 2025年7月期第3四半期 △448百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年7月期第3四半期 | △25.47 | — |
| 2025年7月期第3四半期 | △63.47 | — |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(注) 2025年3月1日付で普通株式1株につき、普通株式2株の割合で株式分割を実施しております。2025年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年7月期第3四半期 | 1,936 | 622 | 29.9 |
| 2025年7月期 | 1,906 | 677 | 35.5 |

(参考) 自己資本 2026年7月期第3四半期 578百万円 2025年7月期 677百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年7月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2026年7月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2026年7月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年7月期の連結業績予想(2025年8月1日~2026年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,880 | 20.0 | 14 | — | 11 | — | 2 | — | 0.26 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 株式会社SOBAプロジェクト及びその子会社1社、ビ
 新規 4社(社名) ットコイン・セイヴァー株式会社、Ureru Global 除外 1社(社名) -
 EC Inc.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2026年7月期3Q | 7,705,791株 | 2025年7月期 | 7,590,916株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年7月期3Q | 1株 | 2025年7月期 | 1株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2026年7月期3Q | 7,664,559株 | 2025年7月期3Q | 7,067,015株 |

(注) 2025年3月1日付けで普通株式1株につき、普通株式2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、「(4) 発行済株式数(普通株式)」の数値は、2025年7月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についてもその確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 10 |
| (企業結合等関係) | 10 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、売上高は1,099,077千円（前年同期比97.7%）と前年同期と比較し減収となりました。一方、営業損失は△171,953千円と、前年同期から10,782千円の損失縮小となるなど、収益性の改善が見られました。

なお、当社グループは第2四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を変更しております。変更内容は以下のとおりであり、セグメント区分及び業績管理方法に変更はありません。前年同期比較については変更後の名称に基づき記載しております。また、以下の説明では変更後のセグメント名称を使用しております。

| (旧セグメント名称) | (新セグメント名称) |
|---------------------------|-----------------|
| D2C(ネット通販)デジタルマーケティング支援事業 | マーケティング支援事業 |
| D2C(ネット通販)事業 | コマース事業 |
| ビジュアルコミュニケーションDX・Web3事業 | デジタルアセット・Web3事業 |

売上高の減少につきましては、主にコマース事業及びグローバル情報通信事業における要因によるものです。コマース事業においては、SNSプラットフォームにおけるアルゴリズム変更等の影響により広告効率が低下したことから、売上が減少いたしました。また、グローバル情報通信事業においては、前年同期に国際的なイベントや選挙等に伴う一過性の需要が発生していた反動もあり、前年同期実績には及ばない結果となりました。

一方で、粗利率の高いマーケティング支援事業及びデジタルアセット・Web3事業は堅調に推移いたしました。マーケティング支援事業については前年同期と比較し回復基調であり、また今期より新たに取り組んでいるデジタルアセット・Web3事業についても順調に進展しております。

(単位：千円)

| | 売上高 | 営業利益又は 営業損失(△) | 経常利益又は経 常損失(△) | 親会社株主に帰属する 四半期純利益又は四半 期純損失(△) |
|---------------------|-----------|-------------------|-------------------|-------------------------------------|
| 2026年7月期第3四半期連結累計期間 | 1,099,077 | △171,953 | △171,796 | △195,216 |
| 2025年7月期第3四半期連結累計期間 | 1,124,464 | △182,735 | △184,317 | △448,552 |
| 増減額 | △25,386 | 10,782 | 12,521 | 253,335 |

経営環境を踏まえた概況としては、当社グループの主力事業が属するインターネット広告市場におきましては引き続き成長傾向にあり、2025年は前年比110.8%の4兆459億円（株式会社電通「2025年日本の広告費」より）となっております。一方、WEBマーケティング広告における「不当景品類及び不当表示防止法（景表法）」、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」の規制は厳しさを増しており、より慎重な広告表現が求められる状況です。保守的な広告表現への見直しによって広告効率が悪化する場合がありますが、当社グループでは、これらの法規制等を遵守しながら、A/Bテストを繰り返し、広告効率の向上に努めております。

このような環境の中、当社グループは2025年8月に株式会社売れるD2C業界M&A社を売れるAIマーケティング社株式会社へと社名変更し、事業内容をM&A事業からAI事業へ転換してAI事業領域に参入いたしました。また、株式会社SOBAプロジェクトの株式を取得し、さらに、2025年12月にビットコイン・セイヴァー株式会社を設立し、デジタルアセット・Web3事業に参入するなど、積極的に事業領域を広げ、各事業に取り組んでまいりました。また、株式会社売れる越境EC社はアメリカを拠点とする子会社Ureru Global EC Inc. を新設し、アメリカ市場での事業拡大を進めております。

セグメントごとの経営成績

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間において、報告セグメントの名称を変更しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(マーケティング支援事業)

マーケティング支援事業は、売れるネット広告社株式会社がサービス提供する、ネット広告/ランディングページ特化型クラウドサービス「売れるD2Cつくる」、マーケティング支援サービス「最強の売れるメディアプラットフォーム」に加えて、「運用型広告」、株式会社売れる越境EC社が提供する「越境支援」を主軸として事業を展開しております。当第3四半期連結累計期間の実績につきましては、売れるネット広告社株式会社は、前連結会計年度からの不正注文問題及び一部大手クライアントの広告費用対効果悪化の影響が引き続き残るものの、各種対策の強化によりマーケティング支援サービスの売上高は回復基調で推移しております。また、「運用型広告」については順調に拡大を続けており、株式会社売れる越境EC社については前期に受注しておりました中国越境におけるTikTokライブコマースの施策が段階的に実施となったことなどから堅調に推移しております。この結果、当期の同セグメントの売上高は**417,352千円(前年同期比92.5%)**、セグメント損失は**8,121千円(前年同期はセグメント損失146,892千円)**となりました。

(コマース事業)

コマース事業は、オルクス株式会社で開発した化粧品等を販売する「自社国内D2C事業」を主軸としております。主力商品であるシートマスク「Koga0+」については、SNSプラットフォームにおけるアルゴリズム変更等の影響により広告効率が低下し、売上が減少いたしました。一方で、**新たな販売チャネルとして「TikTok Shop」を活用した販売施策を開始したことにより、新規顧客層からの反応が得られるなど、売上回復に向けた一定の手応えが見え始めております。**

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は84,878千円(前年同期比43.4%)となり、セグメント損失は44,618千円(前年同期はセグメント損失19,478千円)となりました。今後は、**TikTok Shopをはじめとする動画・ライブコマース領域を中心に販売チャネルの多様化を進めることで、収益回復を図ってまいります。**

(グローバル情報通信事業)

グローバル情報通信事業は、株式会社JCNTが行う「携帯端末・Wi-Fiルーター等のモバイル通信機器総合レンタルサービス事業」を主軸としております。前年には国際的なイベントや選挙など一過性の要因による需要があった反動から前年実績には及ばなかったものの、修学旅行等の需要増により堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は472,076千円(前年同期比98.8%)、セグメント利益は31,624千円(前年同期比106.7%)となりました。

(デジタルアセット・Web3事業)

デジタルアセット・Web3事業は、株式会社SOBAプロジェクトが提供する、ビジュアルコミュニケーション領域で『特許』を取得したコア技術『SOBAフレームワーク』を擁し、教育・会議・Web3分野へ多面的に展開するソリューションサービスを主軸としております。また、ビットコイン・セイヴァー株式会社を通じて、暗号資産の復旧・保全支援サービス(デジタルアセット・リカバリー事業)を展開しております。当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は124,770千円、セグメント損失は1,137千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の**総資産は1,936,187千円(前期末比1.53%増)**と拡大しております。自己資本比率は一時的に29.9%となりましたが、これは主として成長投資・事業運営を見据えた資金調達の実施によるものであります。一方で、資本金及び資本剰余金の合計額は911,220千円となっており、資本基盤の安定性は維持されております。

①財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ29,321千円増加し、1,936,187千円となりました。これは主に、のれんが24,795千円、ソフトウェアが5,385千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ83,527千円増加し、1,313,361千円となりました。これは主に、未払金が97,341千円、契約負債が37,613千円増加した一方で、買掛金が44,658千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ54,206千円減少し、622,826千円となりました。これは主に資本金及び資本剰余金が合計96,422千円増加し、また非支配株主持分が44,533千円増加した一方で、利益剰余金が195,216千円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は29.9%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の連結業績予想につきましては、2025年9月12日の「2025年7月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年7月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 497,278 | 414,388 |
| 売掛金 | 301,814 | 226,801 |
| 商品 | 47,088 | 34,508 |
| その他 | 133,920 | 224,738 |
| 貸倒引当金 | △33,878 | △24,991 |
| 流動資産合計 | 946,223 | 875,444 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 117,956 | 109,606 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 12,438 | 70,147 |
| リース資産（純額） | 6,250 | 4,982 |
| 有形固定資産合計 | 136,644 | 184,736 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 343,467 | 368,263 |
| ソフトウェア | 193,431 | 198,816 |
| ソフトウェア仮勘定 | 76,796 | 74,694 |
| 無形固定資産合計 | 613,695 | 641,774 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 140,000 | 147,327 |
| 繰延税金資産 | 1,297 | 1,694 |
| その他 | 74,752 | 90,956 |
| 貸倒引当金 | △5,746 | △5,746 |
| 投資その他の資産合計 | 210,302 | 234,232 |
| 固定資産合計 | 960,643 | 1,060,743 |
| 資産合計 | 1,906,866 | 1,936,187 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 184,808 | 140,149 |
| 短期借入金 | 50,000 | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 121,200 | 133,671 |
| リース債務 | 1,858 | 1,858 |
| 未払金 | 62,648 | 159,990 |
| 未払法人税等 | 15,845 | 13,191 |
| 契約負債 | 100,848 | 138,461 |
| 株主優待引当金 | 2,051 | 284 |
| その他 | 72,486 | 35,018 |
| 流動負債合計 | 611,747 | 672,626 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 511,601 | 536,113 |
| リース債務 | 5,113 | 3,719 |
| 長期未払金 | 96,000 | 96,000 |
| その他 | 5,371 | 4,902 |
| 固定負債合計 | 618,085 | 640,734 |
| 負債合計 | 1,229,833 | 1,313,361 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年7月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 412,398 | 460,217 |
| 資本剰余金 | 402,398 | 451,003 |
| 利益剰余金 | △137,794 | △333,011 |
| 株主資本合計 | 677,003 | 578,208 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 29 | 83 |
| その他の包括利益累計額合計 | 29 | 83 |
| 非支配株主持分 | - | 44,533 |
| 純資産合計 | 677,033 | 622,826 |
| 負債純資産合計 | 1,906,866 | 1,936,187 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 1,124,464 | 1,099,077 |
| 売上原価 | 477,744 | 498,026 |
| 売上総利益 | 646,720 | 601,051 |
| 販売費及び一般管理費 | 829,455 | 773,004 |
| 営業損失(△) | △182,735 | △171,953 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,645 | 1,021 |
| 受取手数料 | 4,698 | 4,406 |
| その他 | 5,809 | 3,938 |
| 営業外収益合計 | 12,154 | 9,366 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,699 | 8,077 |
| 株式交付費 | 5,314 | - |
| その他 | 723 | 1,132 |
| 営業外費用合計 | 13,736 | 9,209 |
| 経常損失(△) | △184,317 | △171,796 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 256,464 | - |
| 特別損失合計 | 256,464 | - |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △440,782 | △171,796 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,898 | 5,607 |
| 法人税等調整額 | 5,870 | 16,653 |
| 法人税等合計 | 7,769 | 22,260 |
| 四半期純損失(△) | △448,552 | △194,056 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | 1,159 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △448,552 | △195,216 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △448,552 | △194,056 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △19 | 53 |
| その他の包括利益合計 | △19 | 53 |
| 四半期包括利益 | △448,571 | △194,002 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △448,571 | △195,162 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | 1,159 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、当社は、2025年10月15日付で、株式会社SOBAプロジェクトの株式取得の対価の一部として株式交付による新株式の発行をしたほか、2025年10月27日開催の定時株主総会決議に基づき、2025年11月25日付で当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式報酬として新株式を割り当て、さらにストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金が47,818千円増加しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------------|---------|-----------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | マーケティング 支援事業 | コマース事業 | グローバル 情報通信事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 451,242 | 195,412 | 477,809 | 1,124,464 | — | 1,124,464 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 29,810 | — | — | 29,810 | △29,810 | — |
| 計 | 481,052 | 195,412 | 477,809 | 1,154,274 | △29,810 | 1,124,464 |
| セグメント利益又は損 失(△) | △146,892 | △19,478 | 29,630 | △136,740 | △45,995 | △182,735 |

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△29,810千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

| | マーケティング 支援事業 | コマース事業 | グローバル 情報通信事業 | 合計 | 調整額 (注) | 合計額 |
|------|-----------------|--------|-----------------|---------|------------|---------|
| 減損損失 | 252,560 | — | — | 252,560 | 3,904 | 256,464 |

(注) 調整額の金額は、共用資産に係るものであります。

(のれん等に関する情報)

株式会社JCNTの全株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、「グローバル情報通信事業」セグメントにおいて、のれんが269,715千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------------|------------|-------------------------|-------------------------------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | マーケティング 支援事業 | コマー ス事業 | グロー バル 情報通 信事業 | デジ タル アセ ット・ Web3 事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 417,352 | 84,878 | 472,076 | 124,770 | 1,099,077 | — | 1,099,077 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,609 | — | 26 | — | 1,635 | △1,635 | — |
| 計 | 418,961 | 84,878 | 472,103 | 124,770 | 1,100,713 | △1,635 | 1,099,077 |
| セグメント利益又は損 失(△) | △8,121 | △44,618 | 31,624 | △1,137 | △22,252 | △149,701 | △171,953 |

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額 △1,635千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、第3四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれん等に関する情報)

株式会社SOBAプロジェクトを取得し連結の範囲に含めたことにより、「デジタルアセット・Web3事業」セグメントにおいて、のれんが60,482千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、第1四半期連結会計期間より、株式を取得し子会社化した株式会社SOBAプロジェクト及び新たに設立したビットコイン・セイヴァー株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、「デジタルアセット・Web3事業」を追加しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 63,481 千円 | 71,370千円 |
| のれんの償却額 | 45,136 千円 | 35,686千円 |

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2026年4月30日開催の取締役会において、株式会社アドウェイズの中国子会社「愛徳威広告(上海)有限公司」及び香港子会社「ADWAYS ASIA HOLDINGS LIMITED」の株式を取得し子会社化することを決議し、2026年5月1日付で当該株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

①被取得企業の名称 愛徳威広告(上海)有限公司
事業の内容 インターネット広告事業

②被取得企業の名称 ADWAYS ASIA HOLDINGS LIMITED
事業の内容 インターネット広告事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、D2C・EC領域を中心としたデジタルマーケティング事業を展開しており、中国市場を中長期的な成長戦略上の重要市場と位置付けております。本件株式取得は、中国市場における事業基盤、顧客ネットワーク及び運用体制を獲得し、当社が有する「最強の売れるノウハウ」とのシナジーを創出することで、中国SNS・EC・ライブコマース領域での事業拡大を図ることを目的としております。これにより、グローバル展開の加速と中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

(3) 企業結合日

企業結合日 2026年5月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | | |
|-------|------------------------------|--------|----|
| 取得の対価 | 愛徳威広告(上海)有限公司 | 現金及び預金 | 1円 |
| | ADWAYS ASIA HOLDINGS LIMITED | 現金及び預金 | 1円 |
| 取得価額 | | | 2円 |

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

デュー・ディリジェンス費用及び株式価値算定費用 4,195千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳
現時点では確定しておりません。

(第三者割当による新株式発行)

当社は、2026年4月30日開催の取締役会において、株式会社アドウェイズを割当予定先として、第三者割当による新株式（以下「本株式」）の発行（以下「本第三者割当増資」）を行うことについて決議し、2026年5月18日に払い込みを受けております。

| | | |
|-----|------------------|--|
| (1) | 払込期日 | 2026年5月18日 |
| (2) | 発行する株式の種類及び数 | 当社普通株式 397,000株 |
| (3) | 発行価額 | 1株につき 526円 |
| (4) | 調達資金の額（差引手取概算額） | 205,602,000円 |
| (5) | 増加する資本金及び資本準備金の額 | 資本金 104,411,000円（1株につき、263円） 資本準備金 104,411,000円（1株につき、263円） |
| (6) | 募集又は割当方法（割当先） | 第三者割当の方法により、株式会社アドウェイズに全株式を割り当てます。 |
| (7) | 資金の用途 | 子会社の運転資金 |

(子会社の商号変更及び事業目的変更)

当社の連結子会社である売れるAIマーケティング社株式会社は、2026年5月30日開催の取締役会に基づき、2026年6月2日を効力発生日として、商号を「SHILD FORCE株式会社」に変更するとともに、主たる事業目的を従来のAIマーケティング支援事業から次世代クリエイター育成オンラインスクール事業へ変更することを決議しました。本変更は、事業戦略上の転換を図るものであり、当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。なお、本件が当社グループの業績に与える影響につきましては現時点では軽微であり、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

また、AIマーケティング支援事業につきましては、当社の連結子会社である株式会社SOBAプロジェクトにおいて引き続き継続いたします。これにより、グループ内の事業機能を最適化し、経営効率の向上を図ってまいります。